

社労士試験対策 過去7年科目別・合格用最適化済問題集
＋計算問題トレーニング10年版
＜正誤表＞

●12ページ 1 解雇予告手当の算定(労働基準法)

【訂正】

計算方法に誤りがありましたので解説のステップ②以降を以下に差し替えます。

ステップ②: 予告手当該当日数

8月12日に解雇予告をした場合には、8月12日は解雇する日の19日前であり、これが解雇予告期間日数となる。従って、本来支払うべき30日分から予告期間日数と認められる19日を控除した11日分が解雇予告手当該当日数となる。

ステップ③: 解雇予告手当額

平均賃金×予告手当該当日数

⇒7,500円×11日＝82,500円

・解答

設問の場合、82,500円の解雇予告手当を支払う必要がある。

●132ページ 問4

【訂正】

選択肢Aと選択肢Bが同じ設問文になっています。Bは以下の文になります。

B 特別加入者に係る休業補償給付は、業務上負傷し、又は疾病にかかり、その療養のため4日以上業務に従事することができない場合には、それによる所得喪失の有無にかかわらず、支給される。

●136ページ 問4 設問文

【誤】 次の記述のうち、正しいものはどれか。

【正】 次の記述のうち、誤っているものはどれか。

●139ページ 問7

【訂正】

選択肢Dと選択肢Eが同じ設問文になっています。Eは以下の文になります。

E 通勤災害により保険給付を受ける者は、その受ける保険給付の額を合計した額が厚生労働省令で定める額を超えることとなったときは、当該保険給付の費用の一部として、厚生労働大臣が定める額を負担しなければならない。

●176ページ 問5 選択肢C 1行目

【誤】 療養の開始後「1年6か月」を「3年」に、

【正】 療養の開始後「3年」を「1年6か月」に、

●230ページ 平成16年度 問2 正解

【誤】 正解なし

【正】 正解 D

●244ページ 問10 表 符号E

【誤】 符号E 1億円×(1000分の5+1000分の7)

【正】 符号E 1億円×(1000分の5+1000分の11)

●269ページ 問10 正解、解説

【誤】 正解 B

30,000,000円(千円未満切り捨て)×5/1000=150,000円

【正】 正解 E

30,000,000円(千円未満切り捨て)×4/1000=120,000円

●296ページ 問5 設問文

【誤】 次の記述のうち、誤っているものはどれか。

【正】 次の記述のうち、正しいものはどれか。

●356ページ 問2 選択肢C

【訂正】

選択肢Cの記述に誤りがあります。Cの文を以下と差し替えます。

C 脱退一時金の支給を受けたときは、支給を受けた者は、その額の計算の基礎となった第1号被保険者としての被保険者であった期間は、被保険者でなかったものとみなされる。

●367ページ 問2

【訂正】

選択肢Dと選択肢Eが同じ設問文になっています。Eは以下の文になります。

E 失踪宣告があったときは、行方不明になってから5年を経過した日に死亡したものとみなされる。

●367ページ 問4

【訂正】

選択肢Cと選択肢Dが同じ設問文になっています。Dは以下の文になります。

D 死亡一時金ならびに脱退一時金に関する処分に不服のあるものは、社会保険審査官に対して審査請求をすることができる。

●369ページ 問9 選択肢A

【誤】 厚生労働大臣の指定する月

【正】 社会保険庁長官の指定する月

●391ページ 問8 解答

【誤】 正解なし

【正】 正解 D

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/2479.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>